

## 令和4年度 学校関係者評価及び改善策

( 中間・最終 )

安浦中学校区 校番 24 学校名 呉市立安浦中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を愛する生徒、学力の向上を目指し、順調に前進している。</li> <li>・毎年、変化する生徒を取り巻く環境、目標設定も大変であると感じる。</li> <li>・適切な目標であり、その判断に対する指標も学力調査等の客観的な数値を用いている。</li> </ul>
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ボランティア活動等への参加とあるが、安浦まちづくり協議会、安浦地区自治会連合会(公衆衛生協議会)等に、ボランティア活動について相談してほしい。また、ボランティア団体から中学校へもっと相談に行きたいと感じた。</li> <li>・先生方の創意工夫により授業等されていることよく理解できる。</li> <li>・生徒の実態に応じた、多様な対策をとっており進路保障に精力的に動いている。</li> <li>・学力調査における全国平均以上の生徒割合が50%以上がクリアならず、ほかの項目が高い評価であるので、次年度目標達成を願う。</li> <li>・学力の向上について、目標達成がB評価であるため、来年度以降達成できるよう頑張してほしい。</li> </ul>
自己評価の結果と分析の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力テストやアンケートを基に実情をきちんと把握している。</li> <li>・2学期に校区小中一貫教育合同研修会を実施されたとの事、蒔いた種が芽を出し育つのは、もう少しの時間なので今後の継続を願っている。</li> <li>・分析の結果を見ると、一部に結果とアンケートの答えに差があるように思う。</li> </ul>
今後の改善策(案)の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入試に向けて先生方一同で3年生の後押しをされ、チーム安中で頑張っている。</li> <li>・授業の受け方→グループ別、メリット、デメリットがある。基礎学力向上の為、毎年考察が必要である。</li> <li>・生徒のために引き続き、頑張してほしい。</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革の一つとして、将来、学校のクラブ活動指導を地域の人たちにやってもらうという方針がでているが、現場の先生たちの仕事量や生徒たちとの触れ合いなど、一人の先生がいくつも役割を持っている。子育て支援を叫ばれるが、子を育てる教育をもっと考える必要があると思う。先生の待遇改善、魅力ある職業となるよう考えていく必要があり、そして子供が少なくなっている今こそ、現場の教師を増やし、少人数教育、個性を伸ばせる教育を実現し、画一された教育ではなく、子供たちがのびのびできる教育を実施してほしい。子供たちにとって何が必要で、将来、日本に役立つ人になっていくかをみんな(社会全体)で考え取り組んでいく改革をしてほしい。</li> <li>・修学旅行をはじめ、多くの行事が平時に戻っており、今後の見通しがつく。来年度から楽しみである。</li> <li>・3年生の学力向上が難しかったとのことだが、私立、公立の受験をすべての生徒が何とかクリアしてほしい。また、コロナ感染で大変な3年間だったが、受験生にはそれぞれに希望が叶うよう最後まで指導をお願いしたい。</li> <li>・子供たちも落ち着いており、高野校長を筆頭によくやっていただいていると思う。最近、タブレットを使用した授業もあるが、自分で考える力を養うため、各家庭を巻き込んでタブレットスマホを使わない日や時間を決める等、工夫を一緒に考えることも必要であると思う。</li> </ul>

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続して、学力向上について研究部を中心に、小中で連携し、授業改善、ICTの活用等さらに取り組んでいく。また、家庭学習についても具体的な学習の進め方を伝えたり、学習内容を理解できているかどうか確認できる課題提示の工夫などを行っていく。また、各学年ともに進路指導と関連させて家庭学習の重要性を指導していく。</li> <li>・これまで中止となっていた行事や体験活動を工夫、改善し積極的に行っていくことで自己肯定感を高めるとともに、地域や家庭を巻き込んだ取り組みを計画し防災教育を進めていく。</li> <li>・コロナ2019に関して規制緩和が進んでいるが、今後も生徒の健康と安全確保のため、感染症に対する予防対策は継続していく。</li> </ul>
--------------------	--